



# しゃくなげ

令和2年

夏休み特別号 I

7月30日配信

シアトル日本語補習学校長 柏 隆

夏季休業も1か月を経、暑い日が続いていますが、お元気にお過ごしでしょうか。

現在も、日米両国内において、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらないとの報道が連日繰り返されていますが、補習校の子供たちや保護者・教職員・学校関係者に感染者の報告がないことに何より安堵しています。

さて、本校は9月開校・対面授業の実施に向けて準備を進めていましたが、校舎借用契約に際し、先日、ベルビュー・スクール・ディストリクト(BSD)から「9月から11月まで、外部団体への校舎の貸し出しは行わないことが決定した。12月以降の貸し出しについては、9月からの学区内各校の様子をみながら判断していく。」との通知がありました。

すでにご存じの方もいらっしゃると思いますが、BSDは、7月22日、管轄の現地校が9月から遠隔(リモート)学習で学校を再開することを発表しました。BSDは新年度開校に向けて、対面学習か遠隔学習か、または両方を組み合わせたハイブリッド学習とするか、保護者アンケート調査を行うなどにより、対応を検討した結果、最終的に、公衆衛生当局からのガイダンスに基づいて学校のキャンパスを開放し、対面授業を行うことはできないと判断したようです。当面は、一時的にリモート学習で学校を開始し、感染率が大幅に低下したときにハイブリッド学習に移行する計画を立てていくようです。(詳細は割愛)

本校を含む外部団体への校舎貸し出しができない理由は、上記のように9月からベルビュー学区内の学校が、州政府から出されたガイドラインに則って開校する準備・対応に忙しいため、とのことでした。

したがって、本校も、**9月からは対面授業ではなく、5・6月のような遠隔での学習支援を行っていくこと**となります。対面授業が実施できず、大変心苦しく残念ですが、事情をご理解いただき、ご了承くださいますようお願い申し上げます。なお、今後の状況によっては、12月以降も校舎が借用できず、遠隔での学習支援を継続しなければならないことも想定されますが、開校の可否や時期につきましては、明確になり次第お知らせいたします。

また、校舎が借用できた場合の開校(対面授業実施)については、新型コロナウイルス感染拡大の状況、州およびBSDの指針、現地校の状況等を勘案しながら、園児・児童・生徒・保護者、並びに教職員の健康・安全を最優先し、対応を考えてまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

## 【ご連絡】 5月6月の学習支援についてのアンケート結果について

5月6月の学習支援についてのアンケートへのご協力ありがとうございました。まとめを作成しましたので、次のリンクからご覧ください。⇒[アンケート結果のまとめ](#)